

12月の行事

田丸 あけみ

2018年も残すところ、あと一ヶ月となりました。

今年も年間を通して、アトムにたくさんの方々が来園してくれました。

中には、新潟県や東京からの見学者もあり、のびのびと保育園で生活している子ども達の姿を見て、関心して帰られました。

そして、残り1か月もたくさんの方がアトムに来てくれます。

1日は、祖父母交流会があります。祖父母交流会は、孫育てを考え合う場、子ども達が園でどのように過ごしているか知っていただく事を目的に、年に二回行ってはいますが、今年は、胃腸炎の流行で、残念ながら一回目の祖父母交流会を中止としました。二回目となる今回は、約70名の祖父母の方々にご参加いただく予定です。

少しの時間ですが、子ども達と楽しい一時を過ごしていただけたらと思います。

13日は、アトムOB保護者の方が動物を通して、命の大切さの話を4,5歳児の子ども達対象に行ってくれます。この方は、動物愛護社会化推進協会の活動をされています。

21日のクリスマス会では、日頃、お世話になっているボランティアの方々や地域の方々をお招きして、子ども達と一緒に楽しい一時をすごしていただく予定です。

又、熊取南中学校と熊取中学校の3年生がアトムに保育体験に来ます。核家族化や少子化が進む中、小さい子ども達とふれあう機会がとてまもなく少なくなっている中で、幼児期の子ども達とのふれあいを通して、自分の成長を知れたり、小さい子ども達の事も知ってもらう機会として、毎年、保育体験に来ます。中学生は、最初緊張した表情で保育園に入ってきましたが、帰る頃には、笑顔で学校に帰って行きます。中には「学校に帰りたくない」とつぶやきながら帰っていく学生もいます。それだけ、保育体験は中学生の子ども達にとって、有意義な時間になってくれているのだと感じます。アトムの子供達にとってもお兄ちゃんやお姉ちゃんに全力で遊んでもらえるので、毎年楽しみにしています。

この様に、多くの方が訪れ、色々な世代の人とかかわり、見守られながら育てているアトムの子供達です。師走の12月ですが、アトムは賑やかな一か月となりそうです。

もうすぐ2019年です。来年は、どの様な一年になるでしょうか。

アトム家族にとって、笑顔が多い一年になりますように…。子ども達が元気に過ごせますように…。と願いながら、12月の巻頭を終えたいと思います。

来年もどうぞよろしくお願い致します。

★12月より西澤 志よりさんが臨時職員として勤務します。

よろしくお祈りします。

★家庭事情により、12月20日付けで臨時職員として勤務していた岩本綾子さんが退職します。